

尼崎市の流動人口 (平成17年国勢調査従業地・通学地集計結果)

平成17年国勢調査の従業地・通学地集計結果が、総務省統計局から公表されました。ここではその尼崎市に関する概要をお知らせします。なお、用語の定義など調査の概要及び全国結果等については、総務省統計局ホームページをご覧ください。

○ 流入人口、流出人口ともに減少

平成17年10月1日現在の尼崎市の流動人口を見ると、流入人口総数は85,951人となり3,647人(4.1%)減少しました。このうち通勤者は81,346人となり2,595人(3.1%)減少、通学者は4,605人となり1,052人(18.6%)減少となっています。

流出人口総数は103,955人となり4,090人(3.8%)減少しました。このうち通勤者は92,731人となり2,374人(2.5%)減少、通学者は11,224人となり1,716人(13.3%)減少となっています。流入人口と流出人口差引すると、18,004人の流出超過となり、443人(2.4%)の減少となりました。

常住人口(夜間人口)458,155人(年齢不詳を除く。)に対し流入人口を加え流出人口を差し引いた昼間人口は440,151人となり、昼間人口率(昼間人口の夜間人口に対する比率)は96.1%となり、0.1ポイント増の微増となりました。

図1 常住人口(夜間人口)と昼間人口の推移(尼崎市)

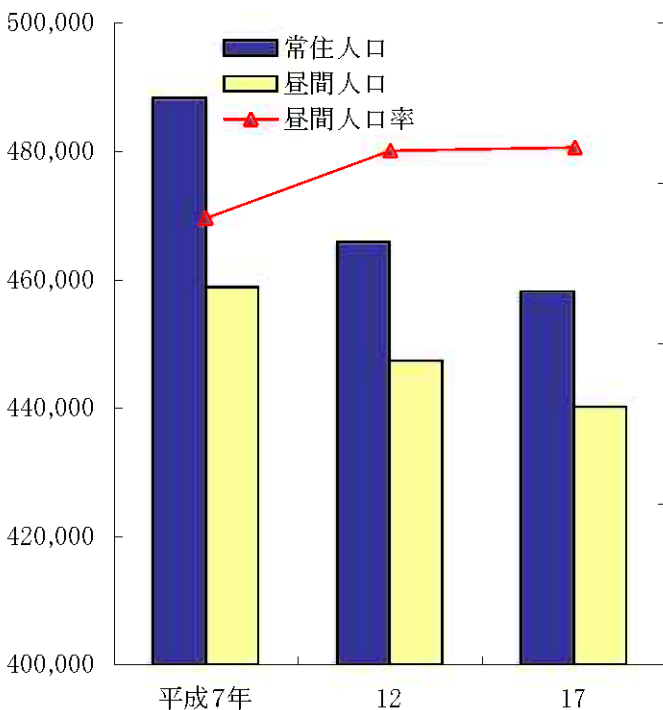


図2 流入・流出人口の推移(尼崎市)

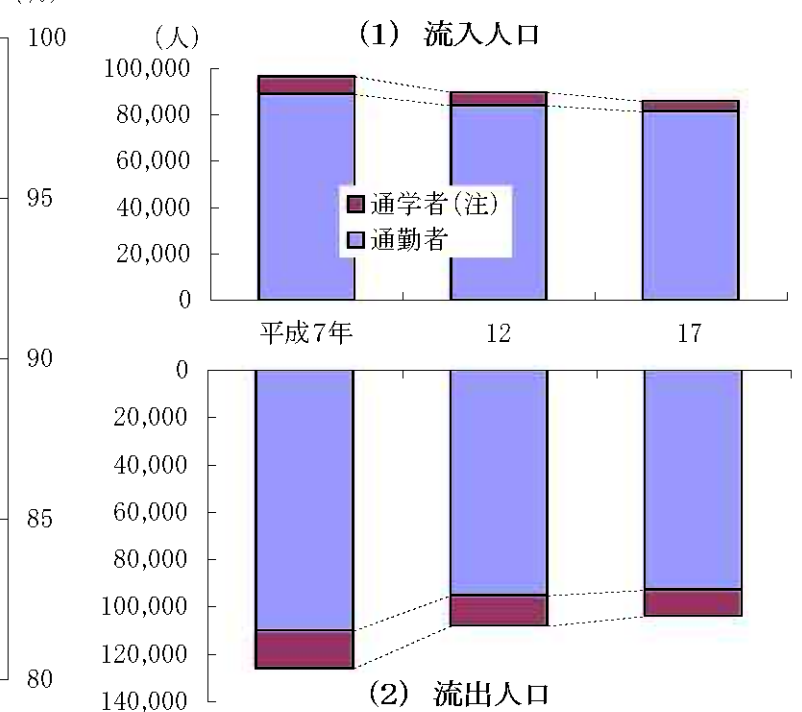


表1 尼崎市の流動人口(平成7,12,17年)

年次	常住人口 (夜間人口)	昼間人口	昼間人口率 (%)	流入人口			流出人口			流入超過数
				総数	通勤者	通学者(注)	総数	通勤者	通学者(注)	
平成7年	488,325	458,780	93.9	96,575	88,805	7,770	126,120	109,993	16,127	△ 29,545
12	465,821	447,374	96.0	89,598	83,941	5,657	108,045	95,105	12,940	△ 18,447
17	458,155	440,151	96.1	85,951	81,346	4,605	103,955	92,731	11,224	△ 18,004

(注)通学者数には15歳未満を含む。なお、本表には年齢不詳の者は含まれない。

○ 近隣自治体の昼夜間人口との比較

尼崎市の昼間人口率を近隣自治体と比較すると、兵庫県全体の95.1より1.0ポイント高く、神戸市の101.8より5.7ポイント低くなっています。また尼崎市の昼間人口率は阪神地区7市1町の中では最も高く、住宅地と産業都市との中間的な性格であると言えます。

表2 近隣自治体の昼夜間人口、昼間人口率

自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率 (%)	自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率 (%)
尼崎市	458,155	440,151	96.1	宝塚市	217,662	170,623	78.4
兵庫県	5,569,924	5,298,677	95.1	川西市	157,347	123,118	78.2
神戸市	1,520,551	1,547,971	101.8	三田市	113,256	102,134	90.2
西宮市	462,689	406,892	87.9	大阪府	8,759,033	9,241,468	105.5
芦屋市	90,447	70,265	77.7	大阪市	2,594,686	3,581,675	138.0
伊丹市	192,230	175,961	91.5	豊中市	386,264	341,739	88.5

○ 流動人口の流入元及び流出先

流入人口85,951人の主な流入元を府県別に見ると、兵庫県内他市町が54,727人(構成比63.7%)と最も多く、次いで大阪府が27,724人(構成比32.3%)が多くなっており、兵庫県内のうち尼崎市を除く阪神6市1町が40,858人(構成比47.5%)と全体のほぼ半数を占めています。さらにこれを都市別に見ると多い順に西宮市15,056人(構成比17.5%)、伊丹市12,725人(構成比14.8%)、大阪市11,519人(13.4%)、神戸市10,565人(構成比12.3%)が1万人を上回っています。

次に流出人口103,955人の流出先を府県別に見ると大阪府が64,620人(構成比62.2%)と最も多く、次いで兵庫県内他市町が35,553人(構成比34.2%)が多くなっており、兵庫県内のうち阪神6市1町が23,638人(構成比22.7%)となっています。さらにこれを都市別に見ると多い順に大阪市47,758人(構成比45.9%)、西宮市11,052人(構成比10.6%)、神戸市10,746人(構成比10.3%)が1万人を上回っています。

表3 流入人口の主な流入元

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)			神戸市	大阪府	大阪府		
			西宮市	伊丹市	宝塚市			大阪市	豊中市	
総数	85,951	54,727	40,858	15,056	12,725	5,605	10,565	27,724	11,519	3,298
従業者数	81,346	51,526	38,868	14,449	12,146	5,296	9,800	26,518	11,033	3,135
通学者数 (注2)	4,605	3,201	1,990	607	579	309	765	1,206	486	163

(注1) 西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の6市1町の合計である。

(注2) 15歳未満の通学者を含む。

表4 流出人口の主な流出先

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)			神戸市	大阪府	大阪府		
			西宮市	伊丹市	宝塚市			大阪市	豊中市	
総数	103,955	35,553	23,638	11,052	7,804	2,149	10,746	64,620	47,758	4,066
従業者数	92,731	30,370	20,466	8,858	7,499	1,879	8,887	59,643	45,614	3,720
通学者数 (注2)	11,224	5,183	3,172	2,194	305	270	1,859	4,977	2,144	346

(注1) 西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の6市1町の合計である。

(注2) 15歳未満の通学者を含む。